



ごあいさつ

日頃は根津グループとお取引頂きまして、誠にありがとうございます。

今回のNEZU システム通信は、

鉄鋼関連情報(社団法人鉄鋼連盟 2009 年 11 月 26 日発表)

ノートパソコンの盗難防止対策と携帯電話の紛失対策

についてお届け致します。

鉄鋼関連情報

下記 URL より社団法人鉄鋼連盟が発表した『鉄鋼需要 2009 年 11 月』の資料を閲覧することが出来ます。(次回公表は 12 月下旬予定です。)

<http://www.jisf.or.jp/data/jyukyu/docs/jyukyu0911.pdf>

ノートパソコンの盗難防止対策(情報漏洩防止)と携帯電話の紛失対策

年末年始の長期休暇時には事務所盗難が多発します。会社のパソコンが盗難に遭った場合、データロックや保存は大丈夫でしょうか? 現代社会では、パソコン紛失が個人情報漏洩、企業情報漏洩に繋がります。また、データバックアップを行っていない場合の事業損失は莫大なものになります。

ノートパソコンの盗難または紛失で、情報が流出したと新聞に載るケースが後を絶ちません。ノートパソコンの盗難や紛失を防ぐ最大の方法は、持ち歩かない事です。仕事で使用している以上持ち歩かない訳にはいきません。盗難防止には家電量販店でよく見かける様に、ノートパソコンのセキュリティホールに鍵付のワイヤーを付け、机や柱にワイヤーを固定して持ち出しを防止する方法がありますが、今回は情報(データ類)の盗難防止対策を紹介致します。また、携帯電話を紛失しない為の対策も紹介致します。



起動パスワードを設定する(パワーオンパスワード)

パソコン起動時にユーザーが登録したパスワードを入力して起動させます。パスワードが入力されない限りパソコンは起動しません。全てのパソコンにある機能ですが、メーカーによっては Windows のメーカー設定画面から設定する場合と、パソコン本体の BIOS から設定する場合とがあります。

設定方法は取扱説明書を参照して下さい。

BIOS(バイオス)とは、パソコンの最初に起動するプログラムで、パソコンに接続されている機器の認識やハードディスクから Windows を起動させる動作を行っています。



ハードディスクに鍵をかける(ハードディスクロック)

ハードディスクにパスワードを設定することで情報の漏洩防止を行います。設定は BIOS 設定画面より行います。イメージはパワーオンパスワードと一緒ですが、パワーオンパスワードだけの設定ですと、パソコンを解体されてハードディスクを取り出されてしまった場合、他のパソコンにハードディスクを接続して情報を引き出されてしまう可能性もあります。ハードディスクロックの場合は、情報を保存するハードディスク自体にパスワードを設定しますので、パソコンからハードディスクを取り出されてもパスワードが入力されない限りハードディスクは動作しませんので、情報を引き出すことは不可能となります。

設定はパソコンの機種メーカーにより出来る機種と出来ない機種がありますので、お使いのパソコンメーカーにお問い合わせ下さい。

USB を鍵にする(USB キー)

USB ポートに差し込んだ機器により、パソコンの制限を解除させる鍵のイメージで USB 機器を用います。少しの間、パソコンから離れる場合でも USB キーを引き抜くだけでパソコンの全ての操作にロックが掛かり、画面にはスクリーンセーバーが表示され、デスクトップが見えなくなります。また、電源が切れている場合は、USB キーが差し込まれていないとパソコンは起動することが出来ません。

参考 URL : <http://www.princeton.co.jp/product/securitypc/uclef2.html>



その他 盗難防止アイテムの紹介

盗難追跡ソフト

予め盗難追跡ソフトがインストールされているパソコンが盗難にあった場合、そのパソコンが盗難先でインターネットに接続された際に、パソコンの所有者宛に自分の接続されたネットワークの情報を記載し、自動的にメールが送信されます。盗難されたパソコンがどこから接続されているか等の情報が得られ、犯人の居場所とパソコンの所在を突き止めることが出来るソフトです。さらにこのソフトが、盗難されたことを認識すると、予め設定された情報にロックを掛け、盗難者が情報データを開くことが出来なくなります。

参考 URL : <http://www.j-advance.co.jp/ntracker/ntacker.html>

盗難防止カード

カードをノートパソコン本体の拡張スロットに挿入して使用します。例えば、起動中に不正に持ち出されると、大音量の警告音を鳴らしながらパソコンが強制終了し、操作が全く出来なくなります。回復させるには持ち主が決めた 16 桁のパスワードを入力しない限り起動させることは出来ません。パソコンの電源が入っていても、不正に持ち出された場合も警告音が鳴るような仕組みになっています。

参考 URL : http://www.kokuyo.co.jp/press/news/20060302_546.html

最近、盗難追跡ソフトに GPS 機能が追加されたものも発表された様です。GPS 機能を使えばより迅速で正確にノートパソコンを見つけることが可能になりますね。早ければ近日中にも販売開始になる様です。

携帯電話の紛失対策

手元から離さない為に、簡単に始められる対策として、スパイラル(紐)付きのストラップを付けるのが効果的です。携帯電話ショップはもちろん、スーパーや百元ショップ等にも売っています。携帯電話から紐が伸びているのが煩わしい方にはアラーム付きのストラップがお勧めです。発信機を携帯電話に付け、受信部を自分で持ちます。発信機と受信機が一定距離以上離れると、バイブレーションとアラーム音で知らせてくれます。

また、携帯電話に分かりやすいストラップを付ける等の目立たせる対策も有効的です。



どこかに落としたとしても拾ってもらえる確率が高く、心当たりのある場所(店)や交番等に問い合わせる際も便利です。

万が一、紛失してしまったら



万が一、紛失してしまったら、まずは各携帯電話会社の窓口に行くか、お客様センターに連絡を入れましょう。携帯電話の利用停止が出来ます。また、遠隔操作でおサイフケータイ等の IC カード機能を停止するサービスもありますので、新たな被害を出さない為にも気が付いたらすぐに連絡することをお勧めします。

現代人にとって欠かせない携帯電話ですが、便利な反面、紛失や盗難に遭った場合は、個人情報がたくさん詰まった危険なツールです。万が一の場合には、冷静な判断で対処出来るようにしましょう。

編集後記

こんにちは、情報システム事業部の添田です。最近になり、やっと八ヶ岳が雪景色になり始めました。

10月末に弊社恒例の全体営業会議が開催されました。各事業所の営業部、製造部(製造課・生産管理課・品質保証課)、情報システム事業部と、そして新たに根津グループに加わった村田鋼業の営業、製造の仲間(写真1)を含め、総勢70名が一堂に集結しました。今回も会議の前に前期(2008年9月～2009年8月)に活躍した社員の表彰式がありました。優秀社員には、伝票の枚数を減らしコスト削減に繋げた八潮事業所の田中詳子さんが受賞しました(写真2)。



写真1 村田鋼業メンバー



写真2 優秀社員・各賞表彰

1年ぶりの大きな会議でしたが、会議が始まってすぐにプレゼンのマンネリ化を見抜かれ、社長から檄が飛びました。進行通りの発表順番ではなく、ランダムにプレゼン発表となり緊張感の中での会議となりましたが、やはりアットホームな雰囲気になります。そして会議終了後は笑いの絶えない懇親会になりました。毎回出席して思うことですが、各自の想いや意見を交換する場になるので刺激になり、モチベーションが上がる機会になっています。弊社の今期のビジョンは『お取引様のバーチャル工場を目指す』です。第一弾として11月中旬より、ご注文発注システム(モーゼ)専用フリーダイヤルを開設しました。いろんな発想を持ち寄り皆様のお役に立てる様に活動して行きたいと思います。



発行：根津鋼材 株式会社 住所：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里1-32-5 (TEL)03-3805-5555
メール：hp_master@nezu-g.co.jp ホームページ：<http://www.nezu-g.co.jp/>
発行人：根津訓光 / 監修 樋口良成 / 編集長
編集：情報システム事業部 NEZU システム通信に掲載された記事の転載はご遠慮願います。

このメールマガジンは、弊社とお取引があり配信依頼がありましたお客様にのみ発行しております。配信中止の場合は、お手数ですが hp_master@nezu-g.co.jp までご連絡ください。その際には、御社名、御社(配信先)メールアドレス、担当者様名を明記くださいます様よろしくお願い致します。